



富田の風

豊かな心、すぐれた知性、
たくましい体を備え
粘り強さと実践力のある
生徒の育成

Tonda Junior High School 2021. 3. 26 文責：岡田 能直

新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休業や行事の中止、縮小などこれまでに経験したことのない心配をした令和2年度の授業が今日で終わりました。大きな事故等も無く終わることができたのは子どもたちの努力や我慢と皆様のご協力のお陰と感謝しております。ありがとうございました。令和3年度も富田中学校へのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

第74回卒業式

～新たな旅立ち～

3月16日
(火)、第74回
卒業式を挙行し、
80名の卒業生



は、希望を胸にはれやかな表情で巣立っていきました。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、出席者を限定し、在校生は参加できませんでしたが、卒業生一人一人のもっている素直さがあふれ、温かい雰囲気のあるすばらしい卒業式でした。卒業生の前途に幸多かれと願いつつ、一人一人の活躍を祈っています。

「答辞」を抜粋し、一部を紹介します。

2年生も残すところあと少し、最上級生としての準備をしていこうという時期、目に見えない敵、コロナウイルスがやってきました。私たちの生活は、大きく変わりました。そして、心の準備ができないまま、進級を迎えることとなりました。今年は、昨年とは違い、職場体験はできず、3年生が中心となる体育大会・文化祭などの行事は短縮での開催となってしまい、みんな悲しい思いを隠せませんでした。しかし、先生方は私たちのために何度も会議を重ね、開催するにあたって手立てをしてくださりました。そのおかげで、体育大会も合唱発表会もこれまでの先輩方に負けにくいぐらいの良い思い出をたくさん作ることができたと思います。私たちはいつも仲間と共に成長し合うことができた実感しています。この学年で本当に良かったです。嬉しい時、悲しい時、どんな時も一緒にいてくれてありがとう。ここにいる80名一人一人に夢や目標があります。これから先、どんなことがあっても、ここでの出会いや経験を忘れず、自分の人生を歩んでいきたいと思えます。

【卒業生代表 中村美咲さん】

時間を大切に ～学校で勉強できるという 当たり前の幸せを感じてほしい～

富田中学校の生徒玄関を入ると、正面の壁に時計が掛けてあります。これは33年前、富田中



在学中、病気のため14歳の若さで亡くなった成合直美さんのご家族が寄贈してくださったものです。直美さんは病気の影響で左手だけが動く状態でした。闘病中に使っていたノートには、左手で「がっこうへいきたい」と書いてありました。ご家族は直美さんが貯めていたお年玉で何かを送りたいと考え、学校と相談して「時間を大切に」という思いを込めてこの時計を寄贈してくださいました。

3月17日(水)、直美さんのお母様に学校にお越しいただき、直美さんが亡くなったのと同じ14歳である2年生に講演をしていただきました。子どもたちは貴重なお話を聞き、健康のありがたさや家族のありがたさ、クラスの友情を再認識したようです。また、感想の中には自分の時間だけではなく、周りの人の時間も大切にしたいと書いてあるものもありました。

成合様、お忙しい時間に、子どもたちにお話を聞かせていただきありがとうございました。

【令和3年4月の主な行事】

6(火)	始業の日
8(木)	第75回入学式
9(金)	身体計測(2・3年) オリエンテーション(1年)
12(月)	身体計測(1年) 全校オリエンテーション
13(火)	県数テスト
14(水)	知能検査(1年)
15(木)	NRT 標準学力検査
16(金)	NRT 標準学力検査 歓迎集会
19(月)～28(水)	家庭訪問
20(火)	県英テスト(2・3年)
30(金)	参観日 PTA総会

新学期が始まり、斯業の日以降に家庭訪問や参観日のお知らせに関する文書を配付します。詳しい日程はそれらの文書でご確認ください。